

まちかど アルバム



さじっ子が座禅を体験

プラザ佐治記念ホール

7月28日（月）、佐治町内の子どもたちが、プラザ佐治記念ホールで座禅を体験しました。指導したのは、林泉寺（佐治町高山）のりんせんじ小杉宗雄住職。姿勢が崩れた子どもたちの肩を警策（戒めの棒）で叩き、気合を入れていました。この座禅体験、子どもたちにとっては、いい思い出になったようです。

「あゆ祭」で伝統の和太鼓が復活！

河原町

かつて「あゆ太鼓」「八上姫太鼓」と呼ばれ、盛んであった河原の和太鼓。この和太鼓が、7月26日（土）に行われた「第30回記念 河原町あゆ祭」で、女性和太鼓グループ「神話の郷太鼓 八上姫」として復活しました。女性ならではの繊細かつ力強い演奏で、これからの活躍が期待されます。



砂丘ビーチ砂もり大会

鳥取砂丘

「第20回砂丘ビーチ砂もり大会」が8月3日（日）、福部町湯山の鳥取砂丘海水浴場で開催されました。この競技、4人1組で制限時間の20分以内に、直径約1メートルの円内に砂を盛って高さを競い合うというもの。県内外から訪れた海水浴客など50組が参加しました。優勝は、抜群のチームワークで159センチを記録したチーム「赤ふん」（写真左奥の組）でした。

カニを釣って得意満面

賀露町

海の日7月21日（月）、とっとり賀露かっこ館一帯で、「鳥取・賀露みなとオアシス夏まつり2008」が開催され、魚のつかみ捕りや巡視船の乗船体験、バーベキューなど多彩な催しが繰り広げられました。中でも、割りばしに結んだ糸の先にするめを付けてキンセンガニを釣る「かにつり大会」は大人気。大人も子どもも釣り上げるたびに大はしゃぎでした。





力を合わせて地引き網

青谷海岸

青谷海岸で8月3日(日)、地元住民など約100人が参加して、地引き網体験が行われました。^{なつどまり}夏泊集落が鳥取県漁協青谷支所の協力を得て、企画したこのイベント。真っ青な海と夏空の下、参加者は大人から子どもまで力を合わせて、懸命に網を引きました。関係者らは、「青谷町の魅力の一つである『海』を活用した“活きのいい”イベントを、今後も続けたい」と意気込んでいます。

夏休みわくわくクッキング

用瀬地区公民館

8月8日(金)、用瀬地区公民館で「夏休みわくわくクッキング」が開催され、用瀬小学校の児童が、暑さを吹き飛ばす夏料理に挑戦しました。メニューは、スープカレーと水菜サラダ、ヨーグルトベースのドリンクの3品。子どもたちは、地域の食生活改善推進委員に教わりながら、慣れない手つきで野菜の皮をむいたり、フライパンで肉をいためたりしました。料理の出来上がりは上々で、みんなでおいしく食べました。



蓮を眺めてウォーキング

鹿野町

鹿野町では、鳥取大学農学部で研究用に栽培されていた195種類のハスを株分けしてもらい、町内で育てる取り組みを始めています。このハスを眺めながら町内を歩こうと7月27日(日)、「第1回しかの城下町蓮ウォーク」が開催されました。この催しに、町内外から約60人が参加。いろいろな蓮を楽しみながら町内を歩き回り、心地よい汗を流しました。

気高中学生が「貝がら節踊り」を披露

気高町

恒例の「貝がら節祭り」が、8月1日(金)と2日(土)の2日間にわたって、気高町内で盛大に開催されました。2日の一斉総踊りでは、気高中学校の生徒が、息の合った「正調貝がら節踊り」を披露。沿道の観客から、惜しめない拍手を受けていました。気高中学校の新入生は、毎年、先輩たちから指導を受け、正調貝がら節の伝統を引き継いでいます。



かんど神戸で特産の桃祭り

神戸地区



桃の生産に力を入れている神戸地区で7月27日(日)、「かんど桃まつり」が開催されました。会場となった神戸小学校には、朝収穫されたばかりの桃のほか、地元住民が作った桃のシャーベットなどが並びました。来場者は、手にひとつひとつ取って品定めをしながら、おいしそうな桃を買い求めていました。